

	児童の現状の分析	授業改善の方針
国語	<p>○ひらがなの読み書きの力が、不十分な児童がいる。特に促音、拗音の表記が十分に身に付いていない。</p> <p>○生活経験からくる語彙力に差がある。</p> <p>○楽しみながら音読をしている。音読の仕方が身に付いてきて、文字を追いつながら音読することができるようになっている。</p> <p>○「話す」「聞く」力が、十分に身に付いていない児童がいる。</p> <p>○言葉のきまりが身に付いていない児童がいる。</p> <p>○読書にすすんで取り組んでいる児童となかなか取り組めない児童がいる。</p>	<p>○他教科の時間でも、教科書等の資料を丁寧に読ませ、ノートも丁寧に書かせる。また、児童の実態に応じて、個別の支援を行う。</p> <p>○語彙ノートを活用し、テーマを決めて言葉集めに取り組み、日常生活や学習に必要な語彙の量を増やしていく。</p> <p>○毎日音読の家庭学習に取り組ませる。</p> <p>○他教科の時間でも話の聞き方を指導する。正しい話形を示し、きちんと話す経験を積み重ねる。</p> <p>○MIMを活用して読みのつまずき克服と読解力アップを図る。プリントで繰り返し練習したり、作文の中で使ったりして習熟を図る。</p> <p>○ポプラタイムや図書の日を使い、読み聞かせや単元の関連読書に計画的に取り組む。</p>
算数	<p>○10までの数の合成・分解、順序数と集合数の違いの理解が不十分な児童がいる。</p> <p>○たし算やひき算の定着が不十分な児童がいる。</p> <p>○文章問題が苦手な傾向があり、何を聞かれているのかを読み取ることが難しい児童がいる。</p>	<p>○ポプラタイム、授業中の一部の時間、家庭学習等を活用して、反復練習を継続していく。</p> <p>○児童の実態に応じてブロックなどの半具体物による操作を十分に経験させる。</p> <p>○問題の場面を図式化したり、絵を使ったり、キーワードを探したりして理解のヒントにつながる工夫をする。</p>
生活	<p>○植物との関わり、生き物との関わりに意欲的に取り組むことができる。</p> <p>○日常の体験や気付きに差がある。</p>	<p>○自然や地域とふれあう学習活動に計画的に取り組む。</p> <p>○人・もの・自然と関わる活動として裏庭の畑やビオトープを積極的に活用する。気付きを促すような言葉かけを工夫する。また、友達の感想や意見を聞く機会を多く設ける。</p>
音楽	<p>○曲調に合わせて体を動かしたりリズム打ちをしたりして、音楽を楽しみながら活動できる児童が多い。</p> <p>○リズムにのって手を打つことが難しい児童がいる。</p>	<p>○教科書教材、音楽朝会の歌などのいろいろな歌を楽しめるようにする。</p> <p>○簡単なリズム打ちに加えて、拍を打ったり音楽に合わせて打楽器を演奏したりする活動を積み重ねる。</p>
図画工作	<p>○意欲的に楽しんでいる。</p> <p>○手先の器用さに個人差がある。</p>	<p>○様々な材料や用具を使い、表現する楽しさや面白さを味わわせる。</p> <p>○はさみ・のり・クレパス・絵の具など道具の使い方を丁寧に指導する。</p>

<p>体 育</p>	<p>○意欲的に楽しんで取り組んでいるが、集団行動ができない児童がいる。</p> <p>○ボールや器具、固定施設を使った遊びの技能に個人差がある。</p> <p>○上体起こしやスキップなど、慣れない動きに戸惑う児童がいる。</p>	<p>○成功体験を増やし、認め合う場を設ける。</p> <p>○様々な運動遊びを通し、体を動かす楽しさを十分に味わわせ、運動感覚を耕すようにする。休み時間も楽しく運動に取り組めるようにする。</p> <p>○多様な動きに取り組む場を設ける。</p>
<p>道 徳</p>	<p>○道徳的な価値理解の個人差が大きい。自分の意見をもてない児童もいる。</p>	<p>○友達の意見を聞いたり、考えを伝え合ったりすることを通し、道徳的価値への理解を広げ深めていく。自分の生活を振り返る時間を取り、どうしていきたいかを毎時間考えさせる。</p>